

令和5年度第1回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日 時	令和5年6月30日(金) 13:30~15:18
会 場	茂原市役所 502 会議室
出席委員	中田会長、山本副会長、北田委員、草野委員、白石委員、志水委員、鈴木委員、佐野委員、澤田委員、木村委員、河野委員、山口委員、田丸委員、荒谷委員
関係課	中村教育部長、白井教育部次長兼教育総務課長、矢部学校教育課長、齊藤学校教育課主幹、安藤学校教育課学務係長
事務局	平井福祉部長、鬼島福祉部次長兼社会福祉課長、根本子育て支援課長、関谷課長補佐、平野子育て家庭相談室長、白井子育て支援課支援係長、熊谷子育て支援課保育係長、高橋主事
傍聴者	1人

配布資料

- ・資料 1-1 教育・保育施設の量の見込みと確保方策
- ・資料 1-2 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保方策
- ・資料 1-3 分野別施策の推進
- ・資料 2-1 萩原小学校区の学童クラブ整備について
- ・資料 2-2 高校生等医療費助成制度について
- ・資料 2-3 ファミリー・サポート・センター事業について

会議次第

- 1 開 会
- 2 委 嘱
- 3 委員紹介
- 4 会長及び副会長の選任
- 5 挨拶
- 6 議 事
 - (1) 令和4年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
 - (2) 令和5年度予算に係る新規事業等について
 - ①萩原小学校区の学童クラブ整備について
 - ②高校生等医療費助成制度について
 - ③ファミリー・サポート・センター事業について
- 7 その他
- 8 閉 会

会議要旨

(議事)

(1) 令和4年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
<事務局から、資料1-1、1-2、1-3に基づき説明>

(議長)

資料1-2、1-3については抜粋にて、説明をいただいたところですが、説明がなかった事業においても御質問いただいて構いません。

ただいま御説明いただきましたことについて、御意見等ございましたらどうぞ。

はい、どうぞ。

(委員)

御説明ありがとうございます。

資料1-2で、評価がCとなっている「子育て短期支援事業」について、特別説明はありませんでしたが、今後の対策など伺えますでしょうか。

(議長)

はい。資料1-2の事業番号6について、C評価となっている御説明をお願いします。

(事務局)

はい。事業番号6「子育て短期支援事業」については、これまで実施しておりませんでした。そのため、C評価とさせていただきます。これは、児童福祉施設等、子育て短期支援事業を実施していただく事業者がこれまでなかったため、実施できていない状況でございます。

なお、現在、市内の児童養護施設において、施設の整備を実施しております。来年度以降、早期の事業開始を目指して、事業者と協議を行い準備しているところでございます。

また、施設については、来月末に完成すると伺っております。

(議長)

ありがとうございます。よろしいですか。

(委員)

はい。

(議長)

その他、御質問、御意見頂戴いたします。

はい、どうぞ。

(委員)

御説明ありがとうございます。資料 1-3 事業番号 1「障害児保育事業」について、評価に「保育士不足により」とありますが、保育士不足の要因とどのように対応していくのかをお伺いしたいです。よろしくお願いします。

(議長)

はい。それでは事務局、保育士不足の状況についてご説明お願いいたします。

(事務局)

「障害児保育事業」において、障害児の受入については努めているところでございます。令和 4 年度は障害者手帳を持つお子さんや特別児童扶養手当支給対象のお子さんを併せて 7 名程受け入れました。

保育士の配置につきまして、基準は満たしていますが、手帳等を持っていないが配慮が必要なお子さんも多くいらっしゃいます。そのため、どうしても保育士はその子に目が離せないという状況もあり、そういった中では保育士が不足しているという状況でございます。

児童数は減少傾向ですが、保育士を増やしていかなければならない状況です。少しずつ改善できるように努めます。

(議長)

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

(委員)

障害がある子の保護者の労働のためにも、7 名の受入れをしていただいているということで、価値がある事業だと思っておりますので、今後も充実していただければと思います。

(事務局)

補足させていただいてよろしいでしょうか。

(議長)

はい。お願いします。

(事務局)

障害福祉サービスのなかに、障害のあるお子さん向けに「保育所等訪問支援」というサービスがございます。

長生郡管内で事業を行っている事業所がありますので、支援員の人数等の兼ね合いもありますが、事業所とも協議を行いながら障害児の受入れについて考えていきたいと思

います。

(議長)

他にありますか。

初めて聞くお話等も多いかと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

私は10年近く赤ちゃん訪問等をやっております。そのなかで、事業番号37「自閉症及び乳幼児の発達障害への対応」についてとありますが、「グレーゾーン」と呼ばれるお子さんが多くいらっしゃいます。その子の子育てについてどうすればいいかと悩む親御さんも多くいらっしゃいます。市役所で子育て相談やことばの相談等を行なっておりますが、相談を希望する方が多く、なかなか予約が取れないという状況があったかと思えます。

保健センターなどでも対応いただいているとは思いますが、事業の拡大等のお考えはありますかでしょうか。

(議長)

はい。いかがいたしましょうか。

子育て支援当事者からお話伺えますでしょうか。

(委員)

はい。子育て支援課で子育て相談やことばの相談を行っており、それにつながる役割として、保健センターでは電話や面接で相談を受けております。「ひまわりっこ教室」という親子で遊ぶ教室がありますが、コロナ禍の影響により定員を減らして開催しております。利用したいという希望があっても、何か月かお待ちいただくことがありますので、事業の拡大をしていきたいところでございます。

しかし、臨床心理士や言語相談員、教室を運営する保育士等は人材不足のため、なかなか事業拡大に結びつかない状況でございます。

(議長)

はい。事務局お願いいたします。

(事務局)

はい。すぐに相談したくてもできないという状況は目の当たりにしております。予約をしたくても、1か月、2か月先であり、タイムリーに支援できていないという状況を痛感しております。

専門職の配置や市の組織の体制もそこまで対応できるだけの人員がいません。今後の課題として受け止めております。

(議長)

はい。よろしいでしょうか。

(委員)

ありがとうございます。
ぜひ、よろしく願いいたします。

(議長)

続いて、いかがでしょうか。

(委員)

私自身は茂原にきて約10年子育てしております、上は小学校4年生から下は2歳までの4人の子どもを育てています。乳児健診、1歳半健診からお世話になっております。

また、ひまわりっこ教室やことばの相談などと、茂原市の子育て支援にお世話になり、感謝しております。

市役所や保健センターなどに多く足を運んでおりましたが、「ライフサポートファイル」などの支援を、今回の資料をみて初めて知りました。せっかく充実した支援があるので、子育て中のお母さん方に認知してもらえるよう、知らせることが出来ればより子育てがしやすくなると思います。

また、病院で診断を受けた際に、その後、支援を受けるためにどの窓口に行き手続きが必要なのかを、分かりやすくしていただきたいと思います。

(議長)

ありがとうございます。
事務局なにかお話ありますか。

(事務局)

はい。貴重な御意見ありがとうございます。

確かに周知が行き届いていないというのは実感しております。ウェブページや広報だけでなく、SNSなど様々な方法を駆使して情報発信していきたいと思っております。

また、相談先については、確かに迷われるところだと思います。

母子手帳などで保健センターが最初に関わる窓口だと思いますが、相談に行くのはどこでもいいと思っております。行きやすい窓口に行ってください、そこで十分な説明ができない場合は、ほかの部署におつなぎいたしますので、まずは、行きやすいところでご相談していただければと思います。

(議長)

はい。ありがとうございました。
大変いいお話をいただきました。
他にありますでしょうか。はい。お願いいたします。

(委員)

資料 1-2 事業番号 11「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」について、まずは助成金の範囲を拡大していただいたこと、保護者に対しての利用料補助の継続、指導員の処遇改善も継続していただけるということで、お礼申し上げます。ありがとうございます。

「令和 4 年度の取り組み内容」において公設学童クラブと民設学童クラブの利用料の平準化というのが明記されておりますが、まず、運営費のうち保護者負担はどれくらいが適当であるとお考えか伺いたいです。

2 点目に、現状公設と民設の利用料にどのくらいの差があるかお伺いしたいです。

3 点目に、平準化を目的とありますが、どのくらいの期間でどこまで差を縮めていくのか計画があれば教えていただければと思います。

(事務局)

はい。運営費の保護者負担の割合についてですが、まず、学童クラブの運営費については、国 1/3・県 1/3・市 1/3 で補助金を受けているところです。国の資料を確認しますと運営費のうち半分くらいを保護者負担、残り半分を補助金等で賄うのが望ましいとなっております。民設については補助金を交付しておりますが、現状としては保護者負担の割合の方が大きいと思っております。

利用料について令和 4 年度の状況で申し上げますと、公設の基本料金は利用料 8,000 円、おやつ代 2,000 円、合計概ね 10,000 円となっております。民設については、学童クラブによって差はありますが、12,000 円程度、高いところで 14,000 円程度となっております。

平準化への計画については、具体的な年度や金額は決まっておりますませんが、民設学童クラブに補助金を交付して利用料を下げてくださいと、公設学童クラブの利用料を見直すことをセットで考えていかなければならないと思っております。しかし、近年物価高騰等で食糧費等の負担が増えている家庭に対して利用料を上げるのが適切かなど今後の課題としてあります。民設学童クラブも公設学童クラブも同じ料金でサービスを受けられるのが理想だと思っております。

(委員)

ありがとうございます。

(議長)

はい。よろしいでしょうか。

他に御質問、御意見ありますでしょうか。

はい。お願いします。

(委員)

子育て支援課、教育委員会の皆様におかれましては、日々子育てのご家庭に対し御尽力をいただき、ありがとうございます。

2点お尋ねいたします。まず、資料1-2 事業番号5「養育支援訪問事業」についてお伺いします。昨年度から、保護者の方が御病気などにより、うまく家事や育児が出来ない家庭にヘルパーを派遣していただく「家事・育児支援」を開始していただきありがとうございます。「家事・育児支援」には利用回数に上限があり、家事・育児能力に心配がある保護者の方が限りある回数のなかで改善するというのは難しいと思っております。どの程度で支援終了と判断するのか、支援終了できずに他のサービスにつなげたなど、事業の課題などお伺いしたいです。

2点目は資料1-2 事業番号7「ファミリー・サポート・センター事業」について、総合評価に「依頼会員は増加したものの、提供会員が若干減少した」とあります。現在、御家族の方からの支援がなかなか受けられないという家庭が増えてきていると感じており、「ファミリー・サポート・センター事業」は心強い事業だと感じております。しかし、提供会員が減っていくとなると、ニーズに十分応えられない心配があります。何か対策等があればお伺いしたいです。

(議長)

はい。事務局お願いします。

「養育支援訪問事業」について1件、「ファミリー・サポート・センター事業」について1件御質問いただきました。御答弁をお願いいたします。

(事務局)

養育支援訪問について、事業の利用により育児不安やストレスが軽減され、支援が終了できたケースもありました。ただ、家事や育児能力の心配が続いているケースについては、1クール3か月で計10回の支援という制限を超えても利用していただこうと考えております。

課題につきましては、現在は訪問相談員のご努力により事業が実施できておりますが、今後、事業の対象者が増加すれば訪問相談員の確保が課題になってくると考えております。

続いて、ファミリー・サポート・センター事業の提供会員の減少対策について、今まで事業の周知は自治会回覧やウェブページで行ってまいりました。改めて周知方法を見直し、主任児童委員の定例会や民生委員の会議等に赴いて、提供会員に特化した事業説明

を検討しております。提供会員の減少というのは他市町村でも抱えている悩みではありますので、他市の状況も伺いながら提供会員の増加に努めてまいります。

(議長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。
他にありますか。

(委員)

資料 1-3 事業番号 35「児童扶養手当の支給」について、支給事務も膨大な量だと思います。支給総額も約 3 億円とのことで、たくさんのひとり親家庭がこの支給を生活の糧としていると思っております。

令和 4 年度の事業実施に「受給資格の疑わしい案件については、聴き取りや現地調査を行うなど、公平・公正な事務執行に努めました」とあり、こういうことも行っているのだと知りました。実際に支給する資格がない家庭があり、支給取りやめになった家庭があったのか、何件くらいあったのかお伺いします。

(事務局)

具体的に何件とは数値を出せませんが、事例をお伝えしますと、匿名で「ひとり親なのに男性が出入りしている」「一緒に買い物している」など具体的な通報が入ります。通報を受けた際は、自宅周辺などを実際訪問し確認したり、本人に直接話を伺ったりします。そこで認めれば、「一緒に男性が住んでいるので、児童扶養手当は受け取りません」といったような届出を提出していただきます。

件数は多くありませんが、通報があれば市で訪問等を行い不正受給が無いように努めております。

(議長)

よろしいでしょうか。他に御質問・御意見ありますでしょうか。
それでは、次の議事に移らせていただきます。

(2) 令和 5 年度予算に係る新規事業等について ＜事務局から、資料 2-1、2-2、2-3 に基づき説明＞

(議長)

3 点のご説明をいただいたところでございますが、御質問・御意見はありますでしょうか。

学童クラブについて何かございますか。

(委員)

学童クラブについては先週、事務局の方が説明に来てくださいました。ありがとうございました。特段大きな質問はなく、保護者の方からすごくわかりやすかったという声を頂戴いたしました。

ただ、運営主体について懸念事項があります。千葉県の補助金の資料を拝見した際に、運営主体は「委託事業者」となっておりました。他市町村では「保護者会」となっているところもあり、増設する萩原学童クラブの運営は委託事業者になるのか、保護者会も含めて検討中なのかお伺いしたいです。

次に、ファミリー・サポート・センター事業については社会福祉協議会から市に代わったとのことですが、二宮学童クラブについても今年度から社会福祉協議会から民間事業者になっていると伺いました。二宮学童クラブが民間事業者に委託先が変わった理由をお伺いしたいです。

社会福祉協議会では運営が難しく、民間事業者に代わったとなると、保護者会でもこれ以上の児童を預かるのは難しいのではないかと意見がありました。増設されますと、現状 70 名定員のところ、来年度から 40 名増加して 110 名定員となり、小さな小学校くらいの規模となります。学童クラブでの、30 日以上の治療が必要な重大事故は 7 年間で 2 倍増加しており、ヒヤリハットのような小さな怪我や事故は日々ある状況です。

学童クラブに入れていない多くの保護者の状況を見ていますので、増設していただくのはありがたく思っておりますが、指導員等ソフト面の充実も補助していただけると、保護者も安心して、保護者会で運営していけると思っていますので、何卒よろしく願いたします。

(議長)

はい。ありがとうございます。

来年 4 月に 40 名定員規模での増設とのことで、運営面での御質問・御意見でしたが、事務局、御答弁をお願いいたします。

(事務局)

初めにお話しいただいた、千葉県の資料については、補助金の資料だと思われまます。直営か委託かの選択となりますので、市が運営するのではないというところで「委託事業者」となっているものだと思われまます。

続いて、二宮学童クラブの運営が社会福祉協議会から代わったことについてですが、これはファミリー・サポート・センター事業が市直営になったこととは関係はありません。

社会福祉協議会は、二宮学童クラブの他に、東郷第 1・第 2 学童クラブ、夏期学童クラブ、独自で豊岡学童クラブを実施しております。コロナ禍の影響もあって、人員の確保が難しい状況に直面しました。学童クラブについては、やめるわけにはいきませんし、隣の学区のクラブを利用してもらうわけにもいかないのです。急遽、民間事業者へ委託と

なりました。社会福祉協議会が実施していた保育内容を引継いで実施していただき、子どもたちに変化が起きないように配慮をしていただいております。切替わる前の3月から、二宮学童クラブに入らせていただき、無理のない移行を行いました。

また、萩原学童クラブの運営について、指導員の確保等、問題はお伺いしております。増設の定員を40人と申し上げておりますが、当初からフルオープンでなくてもよいかと考えております。利用者の状況を見ながら徐々に定員を拡大していくという方法もあるかと思っております。指導員の確保については、市としてもできる限りの協力はしていきたいと思っております。

今現在、萩原学童クラブは保護者会が運営しており、増設する棟についても、まずは、保護者会で運営していただくことを念頭においておりますので、またぜひご協力いただきたいと思っております。

(議長)

はい。よろしいでしょうか。

(委員)

はい。ありがとうございます。

(議長)

はい。

事業拡大ということですので、学童クラブと子育て支援課が協力して対応していただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

他にございますか。

それでは御質問・御意見も出尽くしたようでございます。

以上を持ちまして、議長の任を解かせていただきます。

本日の議事進行につきまして、皆様のご協力、ありがとうございました。

(事務局)

本日の議事録を後日郵送にて送付させていただきます。加筆修正等がございましたら連絡をいただき、修正後茂原市ウェブサイトにて公表したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

次回の審議会でございますが、11月中旬を予定しております。

内容としましては、令和7年度から第3期茂原市子ども・子育て支援事業計画が始まるため、そのニーズ調査等について審議の方お願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。